

2023年 6月末現在
組合員 4,357人
出資金 1億6,788万円
5～6月の動き
組合員 新規加入18人
脱退19人



西濃医療生活協同組合

医療生協



第135号

2023年7月10日発行

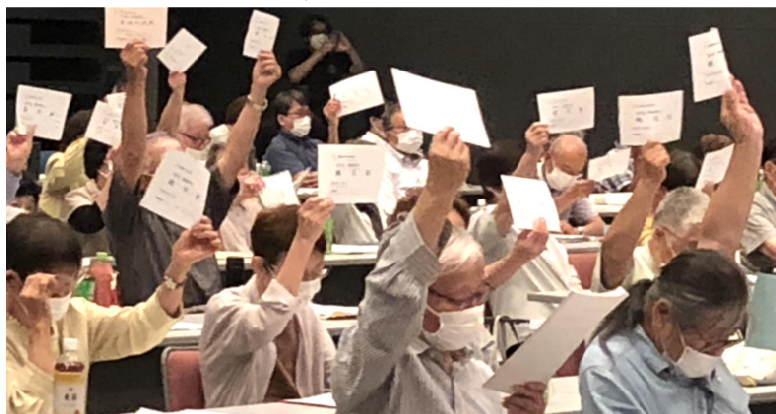
(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会



第22回通常総代会を開催

2023年度活動方針3つの柱を決定

- ①健康で平和なまちづくり
- ②「最後まで自分らしく」を支援する医療・介護活動
- ③ともに学び育ちあう人づくり

6月25日、大垣市情報工房
スイングホールにて通常総代
会を開催しました。会場には、
総代71人と役員44人あわせ
て115人が出席しました。

総代会開会にあたり、宮川
恵子理事から今総代会が定款
に基づき、書面議決26人、代
理出席2人を含め出席定数を
満たしており、成立してい
ると宣言がありました。議長に
瑞穂市の玄瞳総代と揖斐支部
の小倉文雄総代を選出して議
事が始まりました。

木村隆之理事長が開会の挨拶
を行った後、全岐阜県生活
協同組合連合会の大坪光樹会
長理事から来賓挨拶をいた
だきました。

理事会を代表して中村英洋
専務理事から5つの議案が一
括提案され、全体討議を行
いました。8人の総代から質問
や意見が出され、回答や発言
のまとめを行った後、全議案
を賛成多数により可決し、総
代会を閉会しました。

せいりゅう

今年には民医連が結成
され70年になります
が、発足時の初代会
長・須田朱八郎医師の
挨拶があります▼「私
たちは、新しい医療活
動の型を創造している
のです。病める肺、病
める腎臓だけを診るの
ではなくて、病める患部を、
その患者、患者の生活全体と
して診ること、医師、看護
婦、事務、診療所全体の力が
患者とその家族、否、もっと
多くの同じように生活とた
かっている人達と力を合わ
せ、その合作した力で一人の
患者を治療し、健康と健康が
ささえられる生活を守ろうと
しているんです(1953
年)▼しずさと診療所の取り
組みとして「気になる患者さ
んの訪問活動」をしていま
す。この数年はコロナ禍で訪
問ができず中断を余儀なくさ
れていますが…。忙しい外来
診療のなかで、薬が飲めてい
ない、身なりや態度などで、
普段の生活に問題がありそう
と気になる患者さんが散見さ
れます。院内カンファレンス
などで提起し、看護師、事務職員
などで家庭訪問しますと、外
来通院では見えてこないこと
がいろいろと見えてきます▼
実は独居だったり、部屋にお
酒の空き瓶がたくさんころ
がっていたり、キッチンが汚
れた食器で埋まっていたり、
処方された薬がテーブルの雑
多な物の下にそのまま放置さ
れていたりで、生活が成り
立っていないことが分かりま
す。このような人の多くは家
族や社会の支えも乏しく、経
済的にも困窮しています。介
護保険も知らず、受けられる
べきサービスが受けられてい
ないことも多いです▼このよ
うな生活を見ると病状の好転
はまずありえません。介護保
険の案内、ケアマネジャーの
紹介、民生委員との情報共有
と提携、また経済的困窮で充
分な医療が受けられない患者
への支援として適応できる場
合は「身体障害者」の診断書
を書き、何とか医療、福祉の
恩恵が受けられるように動き
ます▼これらの活動が、まさ
に「患者さんを生活全体で診
ていく」と言う初代会長の言
葉の実践だと思えます。身近
で困難を抱えている人は大勢
いると感じています。その人
たちに寄り添っていく姿勢を
大事にしたいものです。
しずさと診療所長 柄澤正人



理事会を代表して中村専務理事が、5つの議案（別掲）を一括して提案しました。そのなかで、中長期計画および2023年度活動方針に関わり、医師退職と補充対策について柄澤所長から「残念ではありますが、ご家庭の事情で岡野医師が今年9月末をもって退職されることになった」との報告がありました。

第1号議案「活動報告」

高田一朗監事からは「事業および決算関係書類等を監査した結果、適正に表示されている」との監査報告が行われました。

組合員活動では班会活動が過去最高の前進。診療所は利用者増、介護はコロナの影響で利用者減少。医療事業においては、受診患者数の回復、ワクチン接種の継続、訪問事業（診療・看護・リハビリ）の利用増加により前年を上回る収益を確保できました。しかし、感染対策の徹底が困難

な介護事業所では過去最大の感染拡大の影響で利用者が減少、前年を大きく下回る収益にとどまりました。

発熱外来の開業やしずさと介護センター不破事業所での利用増などの成果が有り、組合員活動も旺盛に取り組みを進め、過去最多となる班会開催数・参加者数となったとの報告がありました。

第2号議案「中長期計画」

診療所リニューアル計画凍結を解除。役職員の後継対策と組織の拡大強化

理事会において検討を進めてきた修正第2次中長期計画が提案されました。従来の3つのテーマに沿って取り組みを進め、診療所リニューアル計画は凍結を解除し、中長期的に実現をめざして取り組むこと、居場所づくりとたすけあい活動を推進すること、役職員の教育研修の推進と理事会・法人管理組織の強化、仲間ふやしと出資金ふやしの計画などについて報告がされました。

第3号議案「活動方針」

健康で平和なまちづくり、仲間ふやしとともに、経営改善と事

業所の民主的管理運営の実現

厳しい経営状況の改善、組合員活動のさらなる拡充と、民主的な管理運営の実現が大きな課題として提案されました。2023年度は、修正第2次中長期計画の重要な1年目となります。

第4号議案「決算・予算」

診療所は収益増も通所系介護収益はコロナにより収益減。事業費用の増加もあり、法人全体で赤字決算。次年度は収益回復を見込み経営改善をはかる

診療所収益は3億9600万円（前年比103.3%）。一方、介護収益は3億6300万円（前年比95.7%）でした。事業費用は前年比101.9%の7億9100万円となり、2138万円の経常赤字という結果になりました。

介護事業の形態別でみるとデイサービス・ショートステイの通所系での収益減が大きい一方で、訪問看護、訪問リハなど訪問系は増加しており、通所系の改善とあわせて訪問系の収益増をはかるなど、経営改善をすすめます。

第5号議案「役員報酬」

役員報酬規定で定める基準に

基づき、常勤の専務理事および常務理事2人の報酬総額を年間3500万円の範囲内とする提案が行われました。なお、非常勤役員（組合員）は無報酬です。活動方針で取り上げられた

「その他の2つの課題」

①在宅訪問診療患者に関する院外処方の実施について

しずさと診療所では開設以来、薬剤師を配置し院内調剤を実施してきましたが、現行の診療報酬では在宅患者（訪問診療対象者）は処方した薬剤料が包括点数となる（保険請求できない）ことが経営的に大きな課題となっていました。2022年度の包括薬剤料負担額も、月額約70万円となりました。現在の医療情勢と、経営状況を考慮したとき、在宅患者に関して院内調剤を継続することは困難で、院外処方へと切り替える必要があり、実施時期は下半期をメドとする提案がありました。

切り替えによって他院処方薬も含め、かかりつけ薬剤師により薬剤管理や訪問服薬指導が推進されるメリットと、診療所と保険薬局の両方へ行く必要があるため、一部負担金が増加するデメ

リットがあります。負担金の増加については、障害者手帳の取得や、限度額適応などで軽減されることも説明がありました。

なお、外来においては引き続き院内調剤を実施していきます。

②医療生協からの脱退の取り扱いについて

昨年、3年に1度の県当局による生協検査を受けました。その際、「ご本人の自由意志による脱退（自由脱退）」については、法令・定款に基づきその年度末に処理を行うこと」との指摘を受けました。これまでは、申し出があれば、その都度、脱退処理と出資金の返金を行ってきましたが、年度末処理に移行していきます。なお、法定脱退とされる死亡・定款エリア外への転居については申し出の都度処理します。

議案討議

「介護職員の相次ぐ退職があったことについて、職場環境の改善、助け合い支え合える職場づくりに取り組んでほしい」という意見に、中村専務理事は「職員がやりがい

を持って働けていたのか振り返るとともに民主的な管理運営の改善を図りたい」と答えました。

「マイナ保険証が全国でトラブルを生んでいる。政府は現行保険証の廃止を決めたがどう考えているか」という質問に、水野診療所事務長は「保険証廃止のデメリットは明確であり、中止を求める署名運動を進めていく」と答えました。

組合員活動に関しては、スクエアステップ体験会への参加、平和をつくる活動に各支部がよりいっそう取り組みましようとの呼びかけ、班会の活動交流を進めてほしいという要望のほか、出資金ふやしNPO西濃たすけあいの活動への支援、3年ぶりに開催する「健康まつり」に関する発言など、多くの意見、質問、提案が出されました。

理事会を代表して中村専務理事から討議のまとめ発言

5つの議案提案に対し、大変旺盛な討議をありがとうございました。討議のなかでもご意見、ご指摘いただいたとおり、私たち西濃医療生協を

含めた、医療・介護現場は非常に厳しい状況の中にあります。また、貧困と格差の拡大、戦争と平和の問題など、私たちが取り組むべき課題も強く大きくなっています。

そのなかで、私たちは本日決定した2023年度事業・活動方針、そして第2次中期計画の実現に向けて取り組みを進めていかなければなりません。

現在の情勢や医療・介護事業の状況を考慮すると、
①5類に分類され、新たな局面を迎えた新型コロナウイルスへの対応
②経営改善の取り組みと、職員の教育・研修の推進
③組合員活動のさらなる拡充と、職員参加の推進
④平和をまもる活動

この4つがまず取り組むべき重点的な課題となります。理事会が中心となり、役員と共に取り組むながら、活動方針の実現に向けて取り組みを進めていきます。本日は第22回通常総代会にご参加いただきありがとうございます。

議案採決

議案に対する討議とまとめ

発言を受け、議案ごとに採択が行われ、全議案が賛成多数により承認されました。

議事終了後、新入職員紹介

この3年間コロナ禍のもとで、通常総代会が縮小開催を余儀なくされ、新入職員を紹介する機会がありませんでした。この間に入職した14人の職員のうち、当日出席の7人が壇上から自己紹介しました。



「健康保険証を廃止しないことを求める請願署名」
「ご協力ください」

政府は、マイナ保険証1本化を進めるために、来年秋に現行の健康保険証を廃止することを決めました。

今総代会でも、発言がありましたように、医療生協として廃止しないことを求める運動に取り組んでいきます。本紙折り込みの「署名」にご協力をお願いします。

医療生協・しずさと診療所・介護事業所にお持ちいただくか、郵送ください（切手代はご負担願います）。

介護センターにタオル寄贈

6月29日、日赤静里分団の方々により集められたタオルとバスタオルが段ボール6箱分も届けられました。日赤静里分団の方々には地域貢献のボランティアとしてこれまでも草取りに参加していただいています。



今回は「雑巾は縫ってお届けしようか」とお尋ねがあり、介護センターに問い合わせましたところ、「色々な使い道があるので縫わない方が有難い」とのことのでそのまま集めていただきました。

他団体の方がしずさと診療所や介護センターを大切に思ってください心遣い頂けるのは本当に嬉しいことです。スタッフの皆さんや西濃医療生協に関わる方々の長年の努力のおかげと感謝しています。 齋藤葉子

不破支部

支部総会と健康講座

沖縄民謡も楽しむ

5月21日垂井町表佐地区まちづくりセンターにて支部総会が開かれ23名が参加しました。

伊藤支部長が昨年4月にオープンした拠りどころ「ふわのさと」の活用や平和への取り組みについて話されました。また、今年10月には沖縄平和ツアーが計

画されており、参加の呼びかけもありました。

総会後にはしずさと診療

所の理学療法士である堀向さんの「フレイル予防」の講演があり、スクワットなどの筋トレを教えてもらいました。その後、堀向さんと2人の娘さんとの三線の演奏と沖縄民謡の響きに心打たれ、穏やかな時間を過ごすことができました。

室あや子



宇留生支部健康講座

「転ばぬ先の杖」に参加して

5月21日(日)青島地区センターにて、講師に理学療法士の長谷川賢治先生をお迎えし、お話を聞くことができました。

「転ばぬ先の杖」とは「失敗しないように、前もって準備しておくべきだ」という慣用句です。どのような失敗をしないために何を準備するのだろうか。そんな疑問を持ちながらこの講座に参加しました。

避けるために、高齢になればなるほど、究極のバランス感覚が必要となります。

驚いたことに、「転ばぬ先の杖」は私たちの身体にもともと備わっているとのこと。その杖とは①俊敏性(素早く足が動く)②大臀筋と中臀筋(横への体重移動を支える)③足裏の感覚(バランスの崩れを知らせる)、この3つが私たちの体に備わっている「転ばぬ先の杖」だそう。

さらに丈夫な杖にするための体操も教えていただきました。とは言え、私たちの生活の中で、転びそうになることは誰ももあることです。そんな時は、第一に体を支えてくれるものに抱きつくこと、第二にしゃがみ込むことやごろりと転がることです。体の中の杖が働いてこそこのような行動がとれるのだそうです。

高齢者は特に、「転ばないよう」に気をつけて」とよく言われます。一度転ぶと、なかなかもとの生活に戻れなくなるからです。そうならないためにも、「転ばぬ先の杖」の言葉のように、普段から私たち自身が持っている杖を丈夫なものにして、いざと言うときに使えるようにしておきたいものだと思います。

宮川恵子

中央支部

「介護の現場」を

テーマに学習と支部総会

5月18日(木)。今年は19人の参加を得て、数年ぶりに西公園管理棟で開催することができました。

最初に健康チェックをし、続いて元しずさと介護センター長・中村由美子さんから「介護の現場より」というテーマでお話をいただきました。特に介護認定の手続き・利用など当事者でないことまごついてしまうことを分りやすく説明してもらいました。また介護する側・

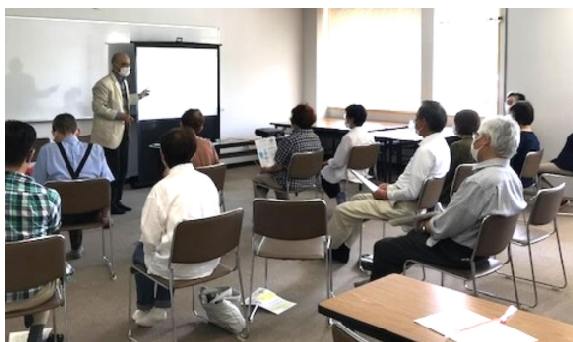


される側どちらにとっても社会問題としてクローズアッ

プされている「虐待」「ハラスメント」については、会場からの質問にも答えてもらい、さらに理解が深まりました。そして「史上最悪の介護保険制度改定」が行われようとしている今、声を上げること、改悪を少しでも阻止できるかどうか、私たちが自身が常にこの制度に関心を持ち自分事として勉強することの大切さを再確認しました。

最後に本年度の支部の活動方針を確認し、無事終了することができました。

松岡恵子



神戸支部介護講座

「介護保険を受けるにはどうすればいいの？」
介護サービスってどんなものがあるの？」

5月14日、ふれあいセンターにて介護講座を開催しました。講師は神戸町地域包括支援センターの社会福祉士と介護支援専門員のお二人と、福祉法人の施設長さんにお話ししました。わかり易い資料もあり、いろいろなお話が聞けました。27名の参加者からは、「やはり知ることは大事」という感想をたくさん頂きました。

行くべき道が開けた介護保険のお話

介護保険のお話を聞く会に参加しました。私自身も高齢になり、今更ながら自分のこととして真剣に向き合うべきと、興味深く聴きました。八十余年の人生は紆余曲折を経て、今があります。これからは残された日々を安心して穏やかに暮らしていけることが何より望みです。

でも一人では何もできません。まず、庁舎の健康福祉課へ出向き、介護の専門の方に相談して、自分に合った方法を探すことを教えて頂きました。

私にはその日がいつ来るのかわかりませんが、その時には信頼できる人（家族とか友人）に同席してほしいものです。霧の中のような未来に、うっすらと行くべき道が開けたと思います。

これまで生きてこられたことに感謝しながら一日一日を静かに過ごしてゆきたいです。ありがとうございました。

田中澄子

西支部健康講座

「歩けなくなる前に、
この筋肉をつけるといいよ」

5月21日にしずさと診療所で開催。24名の参加でした。「歩けなくなる前に、この筋肉をつけるといいよ」とのテーマで、しずさと診療所の伊賀並裕規理学療法士さんに話を聞きました。誰もが避けて通れないこの演題に飛びついた自分がいました。

理学療法士さんの紹介から始まり、レジメに沿ってのお話で、わかりやすかった。その中の「転倒予防をいつまでも元気の」ところで、転倒予防のトレーニングを紹介されて、その2つを実際にみんなまで体験

しました。

椅子の立ち座り運動と、頭と身体を同時に使う運動です。それは足踏みをしながらくだものとか野菜の名前を5秒間声に出すものです。足踏みに気をとられて、なかなか言葉が出てこない。あせりながらも楽しい時間でした。休憩をはさんで理学療法士さんの指導のもと、さまざまなマシンでリハビリ体験をしました。このような器具に触れたことは収穫でした。

自分の体は自分で守り、これからは今回の転倒予防講座で体験したことを少しでも日々の生活に取り入れながら元気でいたいと思います。
U・Y

西支部班会「楽しく広場」

「目覚めよ運動能力！」

長谷川賢治先生ありがとう

脚が重い。特に臀部に力が入らない！

そんな不安を抱えながら6月3日の西支部班会「楽しく広場」に参加。「目覚めよ、運動能力！」使わない筋肉が眠っているらしい。私が毎日気にしていることは転ばないこと！

「70代で転べば70%、80代で転べば80%が寝たきりに」と先生も言われました。そうならないためには①バランスを取ろうとするよりも足を出し支持基面を広げる。②足を広げる時活躍する大殿筋と中殿筋を鍛えるために左右ヘリズムよく動く。それには先生の講座で毎回忘れずにやる足裏感覚

を鍛える足裏のツボ押しとそれから以前もやったことのあるバランスを立て直す体操（左右に歩くりズム体操と途中で全身を小さくする運動）を繰り返す。
帰りには臀部のくすぐったさも取れ、身体も軽くなったようでした。百聞は一見に如かず。こんな講座、見逃すのはもったいない。皆さん参加されませんか。
長谷川講座には、本当に自分の力にするために年間通してのテーマもあります。心臓や血管の運動能力を回復するために「おさかなすきやねん」運動、そして「一、二、キョッ運動」。何それ？って言われる方、是非に参加を！
8月の楽しく広場は5日（土）1時半からです。
馬淵直子

馬淵直子



2023国民平和大行進

核兵器廃絶と平和への願いを
折り鶴に託し職員も参加

今年も6月16日に、国民平和大行進・東京―広島ルートが大垣市

城西公園からスタートし、関ヶ原町まで行進しました。

垂井町へ向かう途中の休憩所で、しずさと診療所職員から、東京からの通し行進者と県内行進者の皆さんに、核兵器廃絶・平和への願いを託し、折り鶴を

手渡しました(写真左下)。
関ヶ原町内の行進には、「日本も核兵器禁止条約に参加しよう」の旗を掲げて、中村専務理事が加わりました(写真左上)。



第65回岐阜県母親大会

つながることのすばらしさ

「第65回岐阜県母親大会in飛騨」が、「戦争はいや！憲法をいかに豊かな暮らしと平和な社会を！」をテーマに、6月25日(日)飛騨市古川町の飛騨市文化交流センターで開催されました。

会場参加者は564人、リモート会場115人でした。西濃からは、バスなどで54人、リモート会場37人でした。このことから、私は西濃の地に、母親運動が確実に広がっていることを実感しました。

全体会講師の前川喜平さんは、「憲法・教育の今と日本の未来―ミサイルではなく教育を!―」と題して講演されました。

憲法24条は基本的人権を大切にすると、個人の人権よりも国家を大切にすることを求めたい。児童館建設を要求していききたい。原発反対運動は活動を続けていくことが大切。

給食費の無償化など安心して子育てをするために市へ粘り強く訴えていきたい。平和の大切を訴え続けたい。農薬の恐ろしさをもっと知らせたい。古川の町並みの美しさや昔の遊びのすばらしさに心が揺さぶられました等、さながら分科会会場にいるような気になれる贅沢なひとときでした。

さあ、次は、第50回西濃母親大会(11月12日(日))大垣市情報工房、講師アサー・ビナードさん)に向けて歩みだしましょう。

奥田和子
西濃母親大会連絡会会長

分科会の様子や報告し合う時間がありました。子どもの声に耳を傾け、自分から地域・職場などで声をかけ、関わりあって、つながり

帰りのバスの中では、参加した分科会の様子や報告し合う時間がありました。子どもの声に耳を傾け、自分から地域・職場などで声をかけ、関わりあって、つながり

帰りのバスの中では、参加した分科会の様子や報告し合う時間がありました。子どもの声に耳を傾け、自分から地域・職場などで声をかけ、関わりあって、つながり

新入職員紹介

しずさとデイサービスセンター

介護士 橋本由紀



5月に入職しました。毎日が楽しく、笑顔の花が咲くように元気いっぱい利用者様と過ごしていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

しずさとデイサービスセンター

介護福祉士 水島淳生



5月16日より、しずさとデイサービスに介護士として入職しました。デイサービスの勤務は初めてではありますが、今までの介護の知識を活かして利用者様やそのご家族様と関わられるように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

しずさとショートステイ

介護福祉士 福島優義



6月からショートステイへ配属となりました。利用者様の笑顔が絶えないようなケアに取り組んでいきます。よろしくお願ひいたします。

平和を語り継ぐ夏

原爆と人間展

とき 7月29日(土)・30日(日) 9時~15時
ところ スイトピアセンター3階展示室

- ◆広島の高校生が描いた「原爆の絵」展示
- ◆DVD放映『戦後76年 被爆者たち 語り継ぐ』

子どもとおとなの平和広場

とき 7月30日(日) 10時~11時30分

★被爆体験者の話を聞いてみよう など

主催：岐阜県被爆者の会 共催：西濃ピースフェスティバル
問合先 090-2689-3438 (西濃教育会館 山岸)
0584-73-8222 (月・水・金10時~17時 大垣おやこ劇場)

- ◎ 医師 外来・在宅医療に関心のある方
- ◎ 薬剤師 夜診療の勤務ができる方
- ◎ 常勤訪問看護師
- ◎ 非常勤作業療法士
- ◎ 介護福祉士

詳細は、西濃医療生協 中村まで
電話 0584 92 3268

西濃医療生協で、一緒に働く仲間
をご紹介いただけませんか？

無料

生活相談

日時：8月10日(木)
9月14日(木)
場所：しずさと診療所内
○相談時間：午後2時~3時
1件あたり30分
○事前申込みが必要です。
本部電話 0584-92-3268

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお聞きします。

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日 7月13日(木) 21日(金) 27日(木)
8月1日(火) 7日(月) 17日(木)
24日(木) 29日(火)
9月5日(火)
※時間はそれぞれ12時半から
場所 三城公園 ソフトボール場
問合・申込先 河村秀一 090-5450-3227

ウォーキングの会

日にち 7月24日(月)
雨天の場合 7月31日(月)
場所 美濃国分寺八十八か所巡りと平尾ダム湖
国分寺境内を通過、その裏山にある新四国八十八か所(石仏)を巡り、平尾ダム湖を散策。
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30
美濃国分寺駐車場 9:15
持ち物 弁当、水筒、雨具、登山靴または運動靴
※会費200円+交通費200円

日にち 8月21日(月)
雨天の場合 8月28日(月)
場所 明神湖一周と岩手地区の散策
垂井町岩手にある竹中半兵衛陣屋跡から明神湖まで。その後岩手の集落散策。
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30
持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴
※会費200円+交通費200円
問合先 杉野茂樹 0584-34-1817
梅村民雄 090-4232-9057

山楽会

日にち 7月10日(月) 雨天中止
場所 鈴北岳 標高 1,182m
いなべ市と多賀町の境に位置し、鈴鹿山脈に連なる山で頂上からの展望が素晴らしい。
健脚度 中級の上
歩行距離・時間 5.2Km (上り575m) 約4時間
集合場所・時間 しずさと診療所 7:30
持ち物 弁当、お茶(500ml×2本)
帽子、雨具、杖など
※会費200円+交通費400円

日にち 8月7日(月) 雨天の場合中止
場所 祐向山 (いこうやま) 標高374m
本巣市「文殊の森」文殊山、祐向山を周回
健脚度 中級(階段多い)
歩行距離・時間 4.7Km (上り472m) 約3.5時間
集合場所・時間 しずさと診療所 8:00
(大垣帰着3時半頃)
持ち物 弁当、お茶(500ml×2本)
帽子、雨具、杖等
※会費200円+交通費300円
問合先 梅村民雄 090-4232-9057
杉野茂樹 0584-34-1817

※日程は変更する場合があります。
詳細は、問合先までお尋ねください。

健康委員会**慌てないで!!救急救命****中消防署の救急隊員に教えてもらいましょう**

日 時 8月6日(日) 13:30~15:30

場 所 介護センターしずさと

持 物 飲み物

問合先 齋藤 090-4860-4505

※詳細は折込チラシをご覧ください。

赤坂支部**健康サロン「熱中症にならない健康生活」**

日 時 7月20日(木) 10:00~11:30

場 所 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス

講 師 宮田祐佳さん (大垣市保健センター)

問合先 宇津 91-2379

**診療所・介護事業所の草取りボラに
皆さまのご協力お願いします**

日 時 7月30日(日) 雨天の場合8月6日(日)

8月27日(日) 雨天の場合9月3日(日)

※集合時間はいずれも午前7時

集合場所 しずさと診療所

問合先 正岡礼子 27-5957

西濃南部支部**伊吹山観望会のご案内**

日 時 8月18日(金) 雨天の場合22日(火)

時 間 関ヶ原駅9:10集合 9:30バス出発

関ヶ原駅着15:10の予定

駐車場 関ヶ原ふれあいセンター

持ち物 昼食・飲み物・タオル・着替えなど

バス代 2,100円(往復)

申込み先 田中信義 090-7607-7468

※参加希望の方は8月15日までに電話で申込みを。

不破支部**不破高生によるスマホ教室**

日 時 7月31日(月) 13:00~14:30

場 所 垂井町府中地区まちづくりセンター2階研修室

内 容 スマートフォン操作の基本

定 員 20名

平和の祈りコンサート

日 時 8月9日(水) 10:00~

場 所 垂井町府中 清蔵寺

演 奏 いぶき座、ブレンディ

長崎原爆投下時間11:02鐘つき

DVD上映会 長崎被爆者体験談

問合先 伊藤 22-5719 山河 22-4316

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

診療所 お盆休診**8月11日(金・祝)~8月15日(火)**

秋のコロナワクチン接種については9月号でお知らせする予定です。

		月	火	水	木	金	土
8~9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9~12時	第一診察室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第二診察室	岡野	岡野	岡野※	岡野	岡野	—
	第三診察室	粕谷	—	粕谷	—	※1	—
14~17時	訪問診療	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	
17~19時	第一診察室	岡野		泉		柄澤	

※1 金曜日の第3診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※2 土曜日の診察

第2・4は岡野医師が担当します。

第1・5は柄澤医師が担当します。

第3は松井医師が担当します。

※水曜日午前の第2診察室

岡野医師が循環器専門外来を担当します。

<医療・介護のお問い合わせは>**▼しずさと診療所**

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169

リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-1169

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311

〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151

〒503-0981 大垣市松町1452

・介護支援センター 0584-93-1171

・デイサービスセンター 0584-93-1172

・訪問看護ステーション 0584-93-1173

・ショートステイ 0584-93-1175

▼しずさと介護支援センター不破事業所

電話 0584-71-7311

〒503-2100 不破郡垂井町地蔵1-105